



あれだけ強かった夏の日差しもいつしか顔を隠し、朝夕は肌寒く感じる日も多くなっています。感染症の流行の話もちらほらと聞かれます。季節の変わり目は風邪をひきやすいと昔から言われていますが、大人も子どもも体調に留意しながら、実りの秋を迎えたいですね。



☆SUMMER イベント☆

ご好評いただきありがとうございました♪

7月1日(木)から8月31日(火)まで、日頃の感謝の気持ちを込めて来院イベントを開催いたしました。

プレゼントを楽しみにして来院してくださった方、イベントとは知らずに来院され、プレゼントを喜んで下さった方、フォトスポットで何枚も写真を撮って楽しんでくださった方、等々、たくさんの方にご利用いただきました。インスタグラムについても興味を持っていただき、フォローして下さった方もいらっしゃいました。プレゼントが嬉しくて、イベント期間中来院するたびに「今日のプレゼントは!??」と保育士に尋ねるかわいらしいお子様もいました♪

たくさんの方にご利用いただきありがとうございました!!



フォトスポット



製作コーナー



**次回開催は
冬を予定して
あります♪**





口がにおう…？



今、マスク生活が続くことで、口臭を気にする方が多くなっているようです。マスクをしているから自身の呼気で口内が潤っているかのように思われます。しかし、実はその逆で、マスクをすることで鼻呼吸が苦しくなるために口呼吸になりやすくなり、口呼吸になることで口内が乾燥します。また、自粛期間などで人と話す機会が減ることなどから、口や舌を動かす機会が減り、唾液が出にくくなることで乾燥しやすくなるとも考えられているそうです。乾燥する＝唾液の分泌が少なくなることで口内の食べかすや雑菌を洗い流す作用が減少し、それが口臭につながるのです。

唾液が減少するという事は、虫歯になりやすい環境にもなるということです。舌を動かして唾液を出しやすくするトレーニングなどもありますが、歯磨剤で唾液の働きをカバーする方法もあります。

『MI ペースト』という歯磨剤は、リカルデントを配合し、細菌が作り出した酸(これによって歯が溶けて虫歯になる)を中和し、虫歯を予防する働きをしてくれます。唾液だけでは中和しきれない酸を、リカルデント成分がカバーしてくれるのです。

マスク生活で口腔内が乾燥しやすいこの時期におすすめです♪

※『MI ペースト』は牛乳由来の成分を含みますので、牛乳アレルギーのある方は使用をお控え下さい。

子どもの成長への願い

『こんな夜更けにバナナかよ』という映画をご覧になったことはありますか？

大泉洋さん主演で、身体にハンディキャップを持つ主人公と彼の生活をお世話してくれる方たちや周りを取り巻く人たちとの物語で、実話をもとにした映画です。映画のもとになった方は鹿野靖明(しかの やすあき)さんという方で、進行性筋ジストロフィーという難病を抱え、自身で自立生活を選び、その生活を24時間体制でボランティアの方たちが支えていたそうです。

映画自体は子育てとは全く無縁とっていい内容ですが、鹿野さんという人物を通して、ご両親が鹿野さんをどのような育児方針で育てられたのか、どのような人間になってほしいと願っていたのかなど、鹿野さんの子ども時代とご両親の子育てについてとても気になりました。

主人公を演じた大泉洋さんが映画を撮り終えた後に、子育てについて思ったことを話されていたことが印象に残っているので紹介します。

これまでは「自分の子どもにどんな教育をしますか」と聞かれたら、「人に迷惑かけないようにしなさい」とずっと言ってきました。でも、この映画を通して、それは違うんじゃないかと思うようになりました。今後は「できないことは人に頼りなさい、でも人に頼られたときは、それに応えられるような人になりなさい」と言うと思います。

というようなことを話されていました。迷惑をかけない人間になってほしいという願いと、助けてほしいといえる人間になってほしいという願いでは、子どもへの接し方も変わってくるように思います。こんな大人になってほしい、こんな人間になってほしいという願いは千差万別で、一概にみんなでこれを目指しましょう！とは決められないものです。

子どもは大人の願いや思いの中で育っていきます。大人が向かうべき道しるべを示してあげることで、うまく子どもに伝えられなくても、“こういう人間になってほしい”と願うだけでも自然とその願いに向かった道ができていくのではないかなと思います。

少し道に迷ったら、その願いについて考えてみる時間を持つものいいかもしれません。